



京都市立堀川高等学校 即興型英語ディベート体験会

一般社団法人パラメンタリーディベート人財育成協会（PDA）

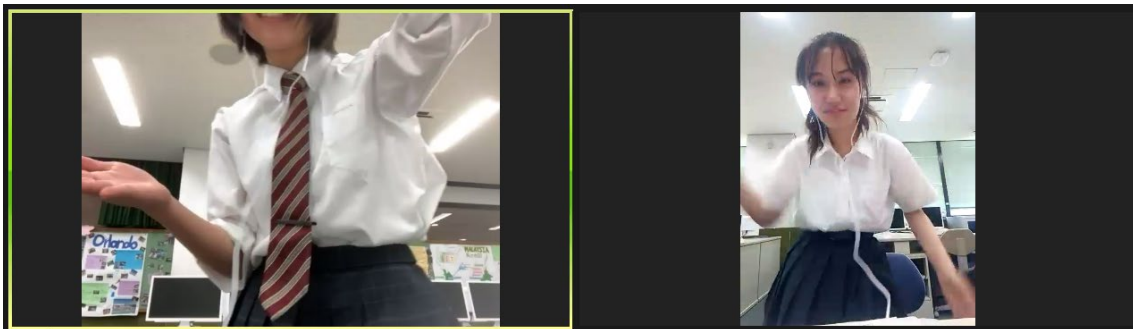
開催日時：2023年7月24日（月）15：00～17：00

場所：オンライン（Zoom）

参加者：高校1年生2名、教員1名（秋田英康先生）

スタッフ：PDA認定教育ジャッジ

PDA形式での英語ディベートは初めてということで、まず最初にPDAルールの確認を行いました。続いて、即興型英語ディベート特有の大事なルール、POI（Point of Information）の練習を行い、ジャッジの仕方を確認後、早速実践①の論題発表です。



元気よく POI 練習！

実践①の様子

ディベーターの各役割を理解するために、1人で3役（リーダー、メンバー、リプライ）の実践に挑戦しました。相手に伝わりやすいきれいな英語の発音で、論題を肯定/否定するポイントがそれぞれ2つ述べられます。また、相手のスピーチ内容を短くまとめた上で、反論や再反論（自分たちのポイントの再構築）を試みることもできていました。

ラウンド後は、感謝の気持ちを込めて対戦相手と握手をします。その後、PDA ジャッジから、（1）勝敗（2）勝敗の理由（3）1人1人への個人コメント（良かった点と次の実践ラウンド②にすぐにかすことのできる改善点など）が述べられました。

実践②の様子

短い休憩の後、実践②では生徒2人が否定チームになり、PDA教育認定ジャッジが肯定チームの3役を担う形式でディベート実践を行いました。先ほどPDAジャッジから受けたアドバイスを早速いかし、聞き手に分かりやすい理由や具体例が立論・反論で詳しく説明

されました。相手の意見を十分に理解し、チームワークよく仲間とも相談しつつ、自らの意見を論理的に説明する場面がぐっと増えました。また、POI にも立ち、英語でのやりとりを通して議論を深めていく面白さも実感できた様子でした。

参加者の声 (アンケートより抜粋)

- 楽しく英語を使って深いディベートができたから、とても楽しかったです。いろんな新しい語句を知れて、全部とても楽しかったです！やっぱり英語は楽しいです！
- ディベートに苦手意識ありましたが、だんだんできる感覚があり、もっとやってみたいという気持ちになりました。
- Thank u for holding a great lecture for us!! I really had fun with debating with my friends in English.

ベストディベーターに選ばれた皆さん (順不同)

■■■■さん

■ ■■■さん

POI 賞に選ばれた皆さん

■ ■■■さん



PDA 滋賀県立彦根東高等学校 即興型英語ディベート

一般社団法人パラメンタリーディベート人財育成協会（PDA）

開催日時：2023年7月27日（木）13:00-15:00

会場：オンライン（Zoom）

参加者：生徒14名、教員2名

ジャッジ：PDAスタッフ、PDA認定教育ジャッジ

はじめに、ルールの重要箇所の確認とPOIポーズの練習を行いました。昨年の体験会に参加した生徒と即興型英語ディベートを行うのは今年が初めてだという生徒の両方がおり、先輩が後輩をリードする形でディベートの準備がはじまりました。



POIの練習

実践（1）の様子

実践（1）では、ジャッジがいる環境でディベートをするのは今日が初めてだという生徒も、スピーチシートを使いこなし、わかりやすいスピーチを披露しました。肯定側も否定側も自分たちのポイントを社会問題と紐付けながら、重要性を説明したり、具体例をあげたりしながら説得力の高いスピーチを展開していきました。ディベートが終わるとお互いの健闘をたたえて握手を交わし、次の実践に向けてジャッジからフィードバックを受けました。



スピーチの様子



ディベート後の握手



ジャッジによるフィードバックの様子

実践（２）の様子

休憩をはさみ、対戦相手を変えて実践（２）のスタートです。理由を説明する、POIで質疑応答にチャレンジするなど実践（１）でジャッジから受けたアドバイスを活かそうと、複数の観点から理由を説明したり、POIで質問をしたりすることができました。相手チームのスピーチを聞いたあとすぐに反論をしなければならない場面でも、相手の立論の痛いところをつくような反論を瞬時に行い、その対応力を披露しました。



時間いっぱいスピーチ



フィードバックを受ける様子

参加者の声（アンケートより抜粋）

- ・今日は、久しぶりに専門の方にジャッジしていただけて、コメントまでもらえる貴重な機会を用意していただいてとてもうれしかったです。また、自分の改善点もわかり、次に活かしていきたいと思いました。ありがとうございます！
- ・アドバイスをもらえたので改善できるように頑張りたい。
- ・またやりたい。
- ・個人的に質問にも答えていただき、ディベートの苦手意識がなくなりました。
- ・最近になって即興ディベートを始めたので、わからないことも多かったのですが、それぞれのポイントを説明していただいたことで、学べることが多くありました。
- ・聞き取れないこともあったし、先輩に頼ってしまったことも多くあった。同じような文を繰り返してしまったので、ディベートに使えるような語彙を身につけることを目指したい。
- ・初めてジャッジを踏まえたディベートでとても緊張したのですが、先輩方の助けもあり、なんとか話すことができたので良かったです。相手の意見が上手く聞き取れなかったり、意見に対する反論がなかなか思うように話せなかったのが反省点です。ディベートは場数を踏むことが1番大事だと思うので、どんどんやって力をつけていけるといいです！



2023 年度神奈川県教員研修(神奈川県教育委員会)

一般社団法人パラメンタリーディベート人財育成協会 (PDA)

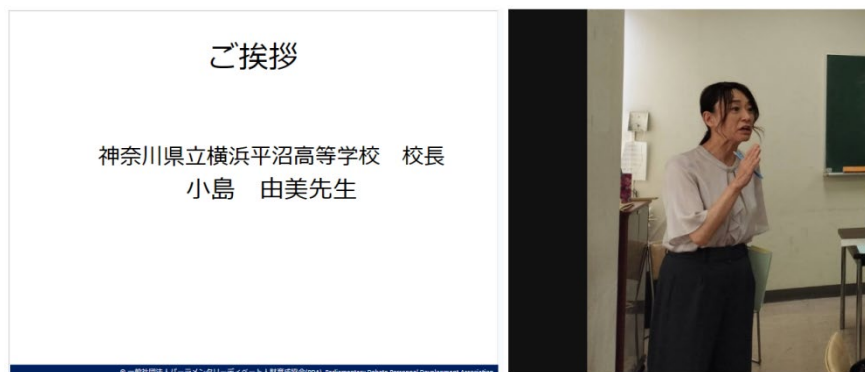
開催日時：2023 年 8 月 1 日 (火) 9:30-16:45

会場：神奈川県立横浜平沼高等学校

参加者：教員 24 名 (横浜翠嵐高等学校、横浜平沼高等学校、横浜緑ヶ丘高等学校、横浜国際高校、光陵高等学校、希望ヶ丘高等学校、川和高等学校、柏陽高等学校、多摩高等学校、横須賀高等学校、平塚江南高等学校、鎌倉高等学校、湘南高等学校、小田原高等学校、茅ヶ崎北陵高等学校、相模原高等学校、厚木高等学校、大和高等学校)

ジャッジ：PDA スタッフ、神奈川教員 (PDA 認定教育ジャッジ)

はじめに、会場校である神奈川県立横浜平沼高校の小島校長先生より、「昨年も開会時にはこれから始まるハードな研修に不安そうな表情が見受けられましたが、研修終了時には、やり切った達成感あふれる表情になっていたことを思い出します。今回も有意義な研修になると思っています。また、研修を通して教員同士の横のつながりが強まることも期待しています。」とご挨拶いただきました。



昨年度は 2 日間で行った研修内容を、今年度は 1 日に凝縮して行います。参加教員は 6 チームに分かれ、ディベート (肯定・否定) とジャッジ、それぞれの役割を実践します。また、午前中と午後でチームの組みかえも行い、研修を通して、より多くの先生方との実践ならびに交流ができる形としています。

午前 2 回、午後 2 回、合計 4 回の各実践の冒頭で、「立論」「反論」「まとめ/Reply」「POI」をテーマに PDA スタッフによる解説を行い、それぞれにテーマを意識して実践に取り組みます。

ディベート実践を行うチームは、論題が発表されるとすぐにチームごとに話し合い 2 つのポイントを考えます。ジャッジ実践を行うチームは、15 分間の準備時間中に、PDA スタッフによるジャッジの仕方について解説を聞き、ディベート実践のジャッジに備えます。



POI 練習



ディベートチーム・ジャッジチームに分かれて実践



議論を交わした相手チームとの握手



PDA ジャッジによるフィードバックを熱心にメモ!

ディベート実践では、回を重ねるごとに具体例や反論の精度が高くなり、立論においても論理性と重要性が強くなりました。ジャッジ実践でも、ディベートの司会進行とタイムマネジメント（分担して行う）にすぐに慣れて、ディベート後の勝敗と勝敗理由の発表も議論の比較や論点の評価のコツをつかむ先生が増えました。

ジャッジ実践チームによるジャッジコメントの後に、PDA ジャッジより、勝敗、その理由、個人コメント（各スピーカへ良かった点1つ・改善点1つ）、ベストディベーター・POIの発表が行われました。ディベート実践もジャッジ実践も、インプットの後に実際のアウトプットを行う流れになっています。

生徒への指導や、11月に行われる「神奈川県高等学校即興型英語ディベート交流大会2023」でのジャッジにいかすために、PDA ジャッジによる個人コメントを熱心にメモされている先生方が多くいらっしゃいました。また、休憩時には他校の教員と情報交換を行う場面も多く見られました。

4回のディベート実践を終えた後、各学校の取り組みについての情報交換を行い、取り組み例や課題などが共有されました。

最後のまとめでは、研修に参加した24名の教員を代表して4名の先生方から「実践回数を重ねることで、自分自身の成長も感じることができた。回数が必要なんだと再認識した。生徒を指導する際も、ディベートへのやる気を維持して、思考力のアップや4技能の向上に繋がる活動をしていきたい」、「実際にやってみて、論理的に話すことの難しさを実感した。自分の中にある隠れた前提まで1つ1つ言葉にして話し、聞き手に伝えることが必要なのだと知れた」、「自分の考えを即興で話せる、相手に伝えられる楽しさ面白さを生徒が実感できるところまでもっていくことが難しく、大変だと思っている。ディベートは英語力を伸ばせる活動なので、生徒がやりたくなるような仕掛けを引き続き考えていきたい」、「生徒達と切磋琢磨しながら私自身もディベート実践を重ねて、さらに英語力を伸ばしていきたい」との感想が述べられ、研修が終了しました。



参加者の声（アンケートより抜粋）

- 昨年度に引き続き参加させて頂きましてありがとうございます。普段は生徒のディベートを見るばかりですが、先生方とのディベートは視野が広く議論も深まり自分のスキルもあがるように感じます。本日の経験も生徒に還元していきたいと思います。
- 実際に自分が何度かディベートを体験することによって、生徒に指導する際の注意点や、生徒にとって難しいポイントを確認することができました。
- 大変良かった。PDA ディベートの実践とジャッジの実践ができたことと、日頃の疑問を質問してアイデアをたくさんもらえたことが理由です。
- 実践を複数回行うことで難しいと感じるのももちろん、どう考えることが重要か、など色々なことに気づけた。この実践を踏まえて可能な限り他の教員、生徒に還元できるように夏休みを使って授業準備等に取り組みたいです。ありがとうございました。
- 前回より時間が長く用意されていたので、理解が深まりました。
- ジャッジの仕方、立論の仕方などを学べた。授業で活用できる要素をたくさん学べた。大変有意義な研修でした。有難う御座いました。
- ディベート実践に加え、情報交換会の時間がきちんと取られていて大変良かった。秋の2年研公開授業でディベートの授業を、やることになったので、夏の段階で情報交換会の機会を頂いて他校のお話を聞いたのがよい時間になりました。次回もよろしく願います。
- ディベートを夏休み明けの授業から導入する予定です。今までOREOを用いた2分間スピーチを帯活動で行い、定期テストではOREOライティングを課して準備を続けて来ました。夏休み明けの実践に役立つ研修会でとてもありがたかったです。
- ジャッジに対する不安が少し取り除かれた。ただまだ不安が残る。特に一人一人にコメントしなければならないのが、短い時間の中で言うことをまとめなければならず実際できるのか不安を感じる。フィードバックの例や言い回しなどの一覧があると大変助かります。最後の意見交換で授業導入の仕方のイメージを少し待つことができた。夏休み明けに実際やってみたいと思う。
- 最初難しいと感じ中々文が作れなかったが、回を重ねるごとに少しではあるが、コツが分かってきたように思う。できればもう少し練習の機会がほしい。
- 経験者の先生方にサポート頂きながら、前回より色んな役割を経験することができ、よかったです。ジャッジを最後まで客観的に行うことの難しさも実感しました。メモはとっていましたが、どんな観点でジャッジはコメントするというような資料があるとイメージが湧きありがたいです。



文部科学省後援 PDA 全国中学校・高校即興型英語ディベート合宿・大会 2023 報告書

一般社団法人パラメンタリーディベート人財育成協会 (PDA)

日程：2023年8月4日(金)～5日(土)

(1日目)中学生：3ラウンド、高校生：練習3ラウンド、予選1

(2日目)高校生：予選2、予選3、キーノート クチャー、 クリエーション、準決勝、決勝

会場：Zoomにてリモート開催

主催：一般社団法人パラメンタリーディベート人財育成協会 (PDA)

後援：文部科学省

助成：公益財団法人日本財団、公益財団法人 KDDI 財団

協力：大阪公立大学



参加者数：中学生 97名 (14校・28チーム)、高校生 298名 (41校・89チーム)

中学校

(茨城県) 清真学園高等学校・中学校、東洋大学附属牛久中学校 (千葉県) 翔凜中学校 (東京都) 品川女子学院中等部、獨協中学高等学校、東京都立大泉高等学校附属中学校、筑波大学附属中学校、(神奈川県) 湘南白百合学園中学校、栄光学園中学校 (愛知県) 南山中学校女子部、大成中学校 (兵庫県) 神戸大学附属中等教育学校 (岡山県) 岡山県立岡山大安寺中等教育学校 (徳島県) 徳島県立城ノ内中等教育学校

高校

(岩手県) 岩手県立盛岡第一高等学校、岩手県立一関第一高等学校 (山形県) 山形県立酒田西高等学校 (茨城県) 清真学園高等学校・中学校、東洋大学附属牛久高等学校 (栃木県) 宇都宮高等学校、栃木県立佐野高等学校、作新学院高等学校 (群馬県) 高崎市立高崎経済大学附属高等学校 (千葉県) 東邦大学付属東邦高等学校、翔凜高等学校、千葉県立船橋高等学校 (東京都) 品川女子学院高等部、獨協中学高等学校、山崎学園富士見高等学校、東京都立大泉高等学校 (神奈川県) 湘南白百合学園高等学校、神奈川県立茅ヶ崎北陵高等学校、神奈川県立相模原高等学校、神奈川県立柏陽高等学校、白鵬女子高等学校、栄光学園高等学校、聖光学院 (福井県) 福井県立藤島高等学校 (長野県) 長野県長野高等学校、長野県松本県ヶ丘高等学校、長野県屋代高等学校、長野県伊那北高等学校、長野県諏訪清陵高等学校 (岐阜県) 岐阜高等学校

(三重県) 三重県立四日市高等学校 (京都府) 京都府立嵯峨野高等学校 (大阪府) 大阪青凌高等学校、関西大倉高等学校 (兵庫県) 雲雀丘学園高等学校。神戸大学附属中等教育学校 (岡山県) 岡山県立岡山大安寺中等教育学校 (広島県) ノートルダム清心中・高等学校 (徳島県) 徳島県立城ノ内中等教育学校、徳島県立徳島北高等学校 (福岡県) 福岡県立城南高等学校 (鹿児島県) 鹿児島中央高等学校 (順不同)

開催趣旨：

〈中学生・高校生向けプログラム〉

本合宿・大会は、即興型英語ディベートの実践を中心としたプログラムで、集中的に「英語での発信力」、「論理的思考力」、「幅広い知識」、「プレゼンテーション力」、「コミュニケーション力」を鍛えます。大学生・大学院生、PDA 認定教育ジャッジによる手厚い指導も伴い、効果的に上記スキルを向上させます。また他校生徒との交流も深まります。初心者の方も歓迎です。高校生向けのプログラムでは、合宿での集中実践の成果を効果的に発揮できるよう、後半には大会を設けています。

〈教員向けプログラム〉

本合宿・大会では、生徒のみならず、教員を対象としたプログラムを同時に進行させます。2022年度からの「論理・表現」をはじめ、授業に導入できる即興型英語ディベートの手法を知っていただく、また即興型英語ディベート実践を経験していただくプログラムとなっています。授業での導入を前提とするため、合宿では一つのセッションを50分としています。また、効果的なプログラムを共に開発するための意見交換会も設けています。

論題（論題は、毎回ディベート開始 15 分前にはじめて発表されます）：

論題 1 : After-school club activities in schools should be abolished.

（学校における放課後のクラブ活動は廃止すべきである。）

論題 2 : The number of AI-equipped surveillance cameras should be increased.

（AI を搭載した監視カメラの数を増やすべきである。）

論題 3 : Volunteer work in schools should be mandatory.

（学校でのボランティア活動を義務化すべきである。）

論題 4 : Japan should privatize prisons.

（日本は刑務所を民営化すべきである。）

論題 5 : Patriotism should be emphasized in compulsory education.

（義務教育課程で愛国心を強調すべきである。）

論題 6 : Scholarships should be granted based only on financial situation, not on academic performance.

（奨学金は、成績ではなく経済状況のみに応じて与えられるべきである。）

論題 7 : In elections, only those who pass aptitude tests should be eligible to vote.

（選挙では、適正テストに合格した人のみ選挙権を持つべきである。）

論題 8 : In university entrance examinations, the ratio of comprehensive type selections (AO examinations) should be increased.

（大学入試では、総合型選抜（AO 入試）の比率を上げるべきである。）

1 日目

開会式では、まず今回の参加校が紹介されました。認定教育ジャッジの先生、スタッフの紹介、合宿スケジュールの確認、ルール諸注意を行いました。中学生・中学校教員の部、高校生の部（授業の部、課外活動の部 初心者、課外活動の部 一般）、高校教員の部（初心・一般、認定、受験）が同時進行で行われます。授業の部においては、学校の通常授業において即興型英語ディベートに取り組んでいる学校を対象とし、普段の授業への積極的な参加の成果を発揮する場、また合宿で学んだことを各校に持ち帰るシステムとなっています。



PDA 代表理事 中川智皓よりご挨拶



開会式の様子

中学生ラウンド1・高校生練習ラウンド1の論題は「学校におけるクラブ活動は廃止すべきである。」でした。教員の部ではラウンドをジャッジする先生、生徒の様子を見学する先生に分かれました。生徒たちはそれぞれの経験を参考にどのような議論ができるかブレーストシート（アイデア出しシート）にメモし、まとめていきました。ディベートが終了すると、他校の生徒と自己紹介をし、学校の様子やお互いの地元などについて語り合う姿が見られました。生徒にとっても身近な話題で、普段の生活から具体例を見つけてスピーチの中に取り入れる様子も見られました。



聖光 B VS 作新 D, 徳島北 B[ジャッジチーム]



相模原 B VS 屋代 D, 白鷗女子 A[ジャッジチーム] 伊那北 C VS 宇都宮 C, 酒田西[ジャッジチーム]



岐阜 C VS 長野 B, 相模原 D[ジャッジチーム]

中学生ラウンド2・高校生練習ラウンド2の論題は「AIを搭載した監視カメラの数を増やすべきである。」でした。犯罪の抑止やプライバシーの問題などの観点から、AIカメラの利点、欠点についての議論がありました。



ディベート後の交流の様子(伊那北 B VS 嵯峨野 C)

また、中高生と同じ論題で、中学教員や高校教員によるディベート実践も行われました。別の学校の教員とチームを組み、実際にディベートすることで生徒の感覚を掴んだり、ディベートのコツを掴んだりする機会となりました。



高校教員によるディベート実践

中学生ラウンド3・高校生練習ラウンド3の論題は「学校でのボランティア活動を義務化すべきである。」でした。ボランティア活動における当事者の自発的活動に依存するという性格から義務化はそぐわないのではないかという視点やボランティアそれ自体のもたらす利益を重視する視点など多くの切り口から論題について考える様子が見られました。



中学・ディベート後の交流(清真 B VS 筑波 B・岡山大安寺 A)(神大附属 A VS 大成)

また、高校生練習ラウンド中は各テーブルで生徒にもジャッジ役を割り振り、他の生徒のディベートを聞いて客観的に勝敗を考える練習を行いました。ジャッジを初めて務めるという生徒もいましたが、事前に行ったジャッジクチャーを参考にディベートを評価する体験は新鮮だった生徒も多かったようです。教員の部でもディベートが行われ、実際にディベーターを体験すると同時に、ジャッジの練習を行う機会が設けられました。

1日目の最後は、高校生の部の予選1が行われました。予選1の論題は「日本は刑務所を民営化すべきである。」でした。練習ラウンドでディベーターやジャッジを務めた経験を活かし、活発な議論が行われました。諸外国の例も考慮に入れながら、民営化の是非について財政や治安など社会全体を広く見渡した議論が行われました。

高校生の部・教員の部で熱い議論が交わされる中、中学生の部の閉会式が行われました。閉会式では、ベストチーム賞、ベストディベーター賞、ベストPOI賞の発表が行われ、受賞を喜び合い、健闘を称えました。



表彰式(中学生の部)



ベストディベーター賞・発表の瞬間

優勝チーム・神大附属 A

2日目

2日目は、各校の出欠確認の後、予選2が行われました。予選2の論題は「義務教育課程で愛国心を強調すべきである。」でした。「愛国心」がもたらす利益や害について分析して、スピーチを組み立てる様子が見られました。また、オンラインディベートにやや慣れてきたようで、積極的にPOIを行う様子もみられました。



長野 C VS 屋代 B



長野 B VS 北陵 B



東洋牛久 VS 宇都宮 B



諏訪清陵 A VS 白鷗女子 B



作新 B VS 相模原 B



ノートルダム清心 VS 松本県ヶ丘

論題に関連して、福岡大学の縄田健悟准教授からキーノート クチャーをいただきました。「愛国主義」と「国家主義」の違いなど混同しやすい概念についての説明もあり、大変に興味を引く内容でした。クチャーに興味深く耳を傾け、積極的に質問する生徒たちの様子が見られました。

- これを踏まえて、どう主張するか？ 10
- 主張A. 愛国心は悪くない
→国家主義を適切に切り分ければ、悪くない。むしろ所属欲求の充足はよいもの。国の中では協力も生まれる。
 - 主張B. 愛国心は悪い
→一緒にくっついていかな国家主義は外国嫌い、さらには戦争につながる。



福岡大学・縄田健悟准教授によるキーノートレクチャー

予選3の論題は「奨学金は成績ではなく経済状況のみに応じて与えられるべきである。」です。大学受験を控える高校生にとっては身近な話題であり、奨学金制度の現状を分析したうえで制度の目的やあるべき形についてスピーチを行う生徒の様子が見られました。



伊那北 VS 富士見



一関第一 B VS 岐阜 A

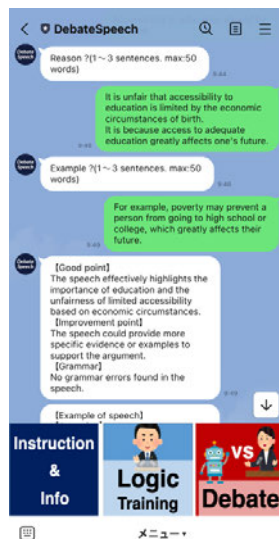


POI! (盛岡第一 B VS 神大附属 A)



ディベート後の交流(徳島北 A VS 鹿児島中央)

昼食後には Zoom での クリエーション「チーム対抗！ディベスピバトル！」が行われました。グループごとにモーションを考え、ハイスコアを目指してスピーチを組み立てました。評価には、PDA の開発した AI を用いたディベートの訓練システム“DebateSpeech”を用いました。時間の制約から短い時間とはなってしまいましたが、和気あいあいと意見を交わす様子も見られました。



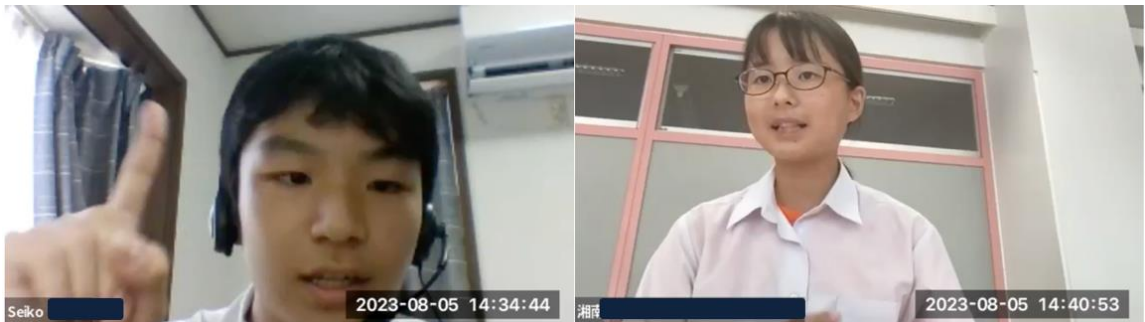
DebateSpeech では入力したスピーチ文に対してフィードバックが自動で送信されます

レクリエーションの後には、授業の部と課外活動の部（一般）の準決勝進出チーム及び課外活動の部（初心者）の決勝進出チームを発表しました。論題は「選挙では、適性テストに合格した人のみ選挙権を持つべきである。」です。珍しい論題ではありましたが、適性テスト導入のもたらす結果について、生徒たちは舌戦を繰り広げました。また、POIも活用して積極的に議論に参加する姿勢も見られました。



課外活動の部(初心者) 決勝戦(諏訪清陵 A VS 聖光 C)

最後は、授業の部と課外活動の部（一般）の決勝です。決勝戦の論題は「大学入試では、総合型選抜（AO入試）の比率を上げるべきである。」です。多くの観客が見守る中、出場者たちは堂々とディベートを行い、この2日間の合宿の掉尾を飾るにふさわしい議論が交わされました。見学生徒もブリーチタイムに論題について考え、ラウンドが始まるとジャッジになって勝敗を出すつもりで観戦しました。



課外活動の部(一般) 決勝戦(聖光 A VS 湘南)



授業の部 決勝戦(作新 D VS 白鷗女子 B)

決勝戦の後、表彰式と閉会式が行われました。各部門の優勝者やベストディベータ賞やベスト POI 賞を受賞した代表者が「2日間でたくさんディベートを実践することで成長できた。対戦チームやジャッジの皆さんに感謝したい。」と感想を述べました。



優勝チーム(作新 D・聖光 C・聖光 A)代表者の感想



ベストディベータ賞集合写真



ベスト POI 賞集合写真

結果

〈中学生の部〉

チーム賞

- 1位：神戸大学附属中等教育学校 A
- 2位：白湘南白百合学園中学校 A
- 3位：南山中学校女子部 A
- 4位：東京都立大泉高等学校附属中学校 B
- 5位：大成中学校
- 6位：筑波大学附属中学校 A
- 7位：神戸大学附属中等教育学校 B
- 8位：徳島県立城ノ内中等教育学校
- 9位：神戸大学附属中等教育学校 D
- 10位：神戸大学附属中等教育学校 C

ベストディベーター賞※☆は3回選ばれた生徒

- _____さん(筑波 A) ☆
- _____さん(神大附属 D) ☆
- _____さん(翔凜)
- _____さん(獨協 A)
- _____さん(大泉 B)
- _____さん(栄光 C2)
- _____さん(湘南白百合 A)
- _____さん(大成)
- _____さん(神大附属 A)
- _____さん(神大附属 B)
- _____さん(徳島城ノ内)

ベスト POI 賞※☆は2回選ばれた生徒

- _____さん(神大附属 A) ☆
- _____さん(清真)
- _____さん(牛久 A)
- _____さん(翔凜)
- _____さん(品川女子 A)
- _____さん(大泉 B)
- _____さん(栄光 A)
- _____さん(南山 A)
- _____さん(南山 B)
- _____さん(南山 C)
- _____さん(神大附属 C)
- _____さん(徳島城ノ内)

〈高校生の部〉

チーム賞（授業の部）

優勝： 作新学院高等学校 D

準優勝： 白鵬女子高等学校 B

3位： 作新学院高等学校 C、白鵬女子高等学校 A

チーム賞（課外活動の部 初心者）

優勝： 聖光学院 C

準優勝： 長野県諏訪清陵高等学校 A

チーム賞（課外活動の部 一般）

優勝： 聖光学院 A

準優勝： 神奈川県立湘南高等学校

3位： 福井県立藤島高等学校 B、徳島県立城ノ内中等教育学校 A

ベストディベーター賞（授業の部・課外活動の部初心者）※☆は3回選ばれた生徒

_____さん(一関第一 C) ☆	_____さん(長野 B)
_____さん(作新 C) ☆	_____さん(長野 C)
_____さん(酒田西)	_____さん(嵯峨野 B)
_____さん(牛久)	_____さん(嵯峨野 C)
_____さん(宇都宮 A)	_____さん(徳島北 B)
_____さん(相模原 B)	_____さん(作新 D)
_____さん(茅ヶ崎北陵 B)	_____さん(白鵬女子 A)
_____さん(聖光 B)	_____さん(大阪青凌)
_____さん(聖光 C)	_____さん(城ノ内 B)
_____さん(藤島 D)	_____さん(城南 B)
_____さん(屋代 B)	_____さん(諏訪清陵 B)
_____さん(諏訪清陵 A)	

ベストディベーター賞（課外活動の部 一般）※☆は3回選ばれた生徒

_____さん(清真) ☆	_____さん(藤島 A)
_____さん(伊那北 A) ☆	_____さん(藤島 A)
_____さん(盛岡第一 A)	_____さん(藤島 B)
_____さん(栄光)	_____さん(長野 A)
_____さん(湘南)	_____さん(神大附属 A)
_____さん(聖光 A)	_____さん(神大附属 B)
_____さん(柏陽 A)	_____さん(城ノ内 A)

ベスト POI 賞（授業の部・課外活動の部初心者）※☆は3回選ばれた生徒

_____さん(一関第一 C) ☆	_____さん(聖光 B)
_____さん(藤島 D) ☆	_____さん(聖光 C)
_____さん(作新 C) ☆	_____さん(伊那北 C)
_____さん(作新 D) ☆	_____さん(諏訪清陵 A)
_____さん(牛久)	_____さん(諏訪清陵 B)
_____さん(作新 B)	_____さん(岐阜 C)
_____さん(宇都宮 A)	_____さん(嵯峨野 A)
_____さん(佐野 A)	_____さん(嵯峨野 B)
_____さん(品川女子)	_____さん(船橋・四日市・雲雀丘 B)
_____さん(相模原 A)	_____さん(城南 C)
_____さん(茅ヶ崎北陵 B)	

ベスト POI 賞（課外活動の部 一般）※☆は3回選ばれた生徒

_____さん(盛岡第一 B) ☆	_____さん(獨協)
_____さん(柏陽 B) ☆	_____さん(湘南)
_____さん(屋代 A) ☆	_____さん(聖光 A)
_____さん(城ノ内 A) ☆	_____さん(長野 A)
_____さん(盛岡第一 A)	_____さん(神大附属 A)
_____さん(一関第一 A)	_____さん(神大附属 B)
_____さん(清真)	_____さん(徳島北 A)
_____さん(佐野 C)	

アンケート（抜粋）

生徒の声（中学生）

- 他行の方と交流し、英語、議論について楽しみながら学ぶことができた。（東京都立大泉高等学校附属中学校・3年）
- 学びが多くとても楽しかったです。（品川女子学院中等部・3年）
- 沢山のディベートのやり方がそれぞれにあって面白かった。（徳島県立城ノ内中等教育学校・3年）
- 他校の人と一緒にディベートをしたり、ジャッジの方のアドバイスがためになった。（品川女子学院中等部・2年）
- 日々の練習での力を発揮することができてすごい楽しかったです。（神戸大学附属中等教育学校・3年）
- 楽しみながら英語を向上できるし、いろいろな学校の人と関われるのがよかったです。（東京都立大泉高等学校附属中学校・3年）
- ジャッジの方が的確なアドバイスをくださり、今後に向けた新たな目標を作ることができたと思いました。motionも大変興味深かったです。（南山中学校女子部・3年）
- 去年からの二回目の夏合宿で たが、他の高校と交流 たり、ディベートの改善点をジャッジの方に言ってもらえて良い経験になって楽しかったです！（岡山県立岡山大安寺中等教育学校・2年）
- はじめてでしたが、すごく楽しくでき、また、いろいろな学びがあったので、非常に参加して良かったと思っています。また参加したいです！また、もっと英語力をのばして、他の大会などにも出られたら出てみたいです！（清真学園高等学校・中学校・2年）
- 自分の英語力のなさを実感でき、自分の重点的に勉強しすべき点を理解できた。また、他校の方と気軽に話せてとても楽しかった。いい経験になった。（東京都立大泉高等学校附属中学校・3年）
- 今回たくさんの方々の色々な学校と関わることが出来、とても楽しく有意義な時間になりました！ありがとうございます。（南山中学校女子部・3年）
- 今日1日だけでも試合を重ねるごとに成長できたと思うので良かったです。（筑波大学附属中学校・2年）
- 去年度の夏合宿で戦わせていただいたお相手に、またお会いできて嬉しかったです！（大成中学校・3年）
- とても実りのある大会だった。来年もぜひ参加したいと思う。（神戸大学附属中等教育学校・3年）
- とても楽しかったです！来年も参加したいです！（神戸大学附属中等教育学校・2年）
- 初めての大会で、ベストディベーター賞をいただけて嬉しかったです。フィードバックもいただけて、自分の成長につながったと思います。ありがとうございます。（神戸大学附属中等教育学校・3年）
- 他校と交流して、色々なことを知ることができ、良かった。（湘南白百合学園中学校・3年）
- 初めての大会で勝手が分からなかったが自分の言いたいことが結構言えて楽しかった。また、POIも初めてだったが結構投げられることも受けることもできて良かった。 ジャッジコメントの前に相手校と論題について話したり雑談できたのもいい経験になった。（神戸大学附属中等教育学校・3年）
- 様々な学校と交流することができて、貴重な経験を得ることができた。（栄光学園中学校・3年）

教員の声（中学校）

- とてもよい経験になりました。役員の方、いろいろありがとうございました。
- 他校との交流を、生徒たちが楽しそうにしていた。
- 表彰が多くて、特に中学生に自信を持たせるために良かったと思います。
- 初めての参加でしたが、大変勉強になりました。全くの初心者ながらすぐに試合のジャッジに入り、不安も多い中でしたが、メインジャッジの先生がジャッジされている様子を拝見し、特にフィードバックのコメントでは大変参考になり、今後の授業活動につなげていきたいと思います。カメラ越しではありましたが、参加している生徒がイキイキとスピーチしている姿が大変印象的でした。 また、教員ラウ

ンドでは、普段使っていない脳を機能させたような感覚で、「知のスポーツ」と呼ばれる所以が少し理解できたような気がします。また機会がありましたら参加させていただきたいと思います。本日はありがとうございました。

生徒の声（高校生）

- あまり外部の方々とディベートの試合をする機会がなかったので、このような場を設けて頂いたことをとても嬉しく思いました。（山崎学園富士見高等学校・2年）
- 大会ということで、とても緊張感を持って真剣に取り組むことができました。初めて会う人とやったことのない論題でディベートをして、考えが深まり、知識も増えたので、とても自分のためになったと思います。とても楽しかったです。（京都府立嵯峨野高等学校・1年）
- 初めて参加しましたが、九州の方の学校と対戦したりして、学びが大きくとても楽しかったです。（岩手県立一関第一高等学校・1年）
- ディベート大会自体、たくさんは参加したことがなく、一試合、1試合とても緊張したが、レベルの高いディベーターのみなさんと議論できたことは自分の能力を上げることに大いに役立った。（清真学園高等学校・2年）
- どのジャッジの方々もとても丁寧に改善点、良いところを伝えてくださり、嬉しかったです。（栃木県立佐野高等学校・2年）
- 参加がしやすく、日頃の学習では出来ない非常に高密度な2日間でした。とても楽しかったです。ありがとうございました。（三重県立四日市高等学校・1年生）
- キーノートレクチャーがわかりやすかった。（長野県伊那北高等学校・2年）
- 夏休みを利用しての二日間のディベート試合は密度が濃く大きな経験を与えてくれました。参加して良かったと思います。（神戸大学附属中等教育学校・2年）
- 楽しかった。キーノートレクチャーを毎回やって欲しい。（長野県伊那北高等学校・2年）
- とても実りある経験になりました。沢山の対戦校さんとの交流やジャッジの先生方の意見を参考に今後もディベート活動を頑張っていきたいと感じました。ありがとうございました。（翔凜高等学校・2年）
- 色々な人とディベートが出来て楽しかった。たくさん視点から物事をみることができ、勉強になった。（徳島県立徳島北高等学校・1年）
- 自分の考えた論を、仲間と協力して組み立てて貰ったり、逆に仲間の反論を助けたりするのがチームスポーツであることを感じて楽しかったです。（長野県屋代高等学校・1年）
- 二日間で質の高い6試合もすることができて勉強になった。フィードバックで改善点を洗い出して次に繋げることができる大会でよかった。（福井県立藤島高等学校・2年）
- めちゃくちゃ楽しかったです。ディベートを何回もすることで英語を使う回数が増え、英語能力が上がったと思います。ありがとうございました！（作新学院高等学校・2年）
- 相手校がすごく強くて感動した。いろいろなところと交流できて楽しい。いろいろな社会問題についても考えることができて嬉しい。（岐阜県立岐阜高等学校・2年）
- 即興型ディベートではその場での対応力が問われるため、難しかったが、ジャッジの方々、対戦校の方々からたくさん改善点を見つけることが出来たため、とてもためになった。（翔凜高等学校・2年）
- 今回の大会を通して、貴重な体験をたくさんすることができました。自分たちの良い点と至らない点を確認することができました。今回の大会で得た経験をこれからの練習に活かしていきます。（福井県立藤島高等学校・2年）
- とても楽しかったです。初めて本格的に他校とディベートを行うことができてとても充実した時間になりました。ありがとうございました。（神奈川県立茅ヶ崎北陵高等学校・1年）
- はじめて大きな大会にして、上手にできて嬉しかったり、もっとこういえればっていう悔しさもあって、今後のモチベーションにつながりました。（岩手県立一関第一高等学校・1年）

- 本当にためになり、自分のディベートに対する意識の向上につながる機会をくださりありがとうございました。（山崎学園富士見高等学校・1年）
- いつもと対戦相手とできた上にいつもよりたくさん一日に試合できたので楽しかった。（神奈川県立柏陽高等学校・1年）
- 他校と対戦することで自分がこれからどれだけ頑張って練習しないといけないかということがわかって、頑張りたいという気持ちももっと出てきました。（雲雀丘学園高等学校・1年）
- それぞれのディベートで学んだことをすぐに次のラウンドで実践できる(実践しようとトライできる)ので、成長できたと思います。（長野県屋代高等学校・2年）
- 自分の高校だけでディベートをしていると、どうしても視野が狭くなったり自身のスピーチも固定化てまうが、大会を通して、自分のスピーチの足りていない部分や、正しいと思っていたスピーチの仕方考え直すことが出来、大会の良さを感じた。（福井県立藤島高等学校・2年）
- 他県の高校生とディベートを通して交流できてうれしかったのと、単純に「英語で第三者を説得させるということが新鮮でとても楽しかったから。（ノートルダム清心中・高等学校・1年）

教員の声（高校）

- 様々な学校の論の立て方や日頃の努力が垣間見れました。またジャッジの良い経験になりました。
- 初めてジャッジを体験しコメントしたためいい経験になりました。
- 大会運営、お疲れ様でした。これだけのチームの大会運営は大変だと思いますが、地方の学校でも、数多くの全国の高校生と交流する機会が持てたことは有り難かったです。ありがとうございました。生徒にとっても、教員にとっても、たいへん有意義な経験になったと思います。
- たくさんの高校生のディベートをジャッジすることで、日頃の自分の授業をどのように改善すべきかとのヒントを得ることができました。また自分のコメント力の低さに気づき、自己課題も見つかりました。生徒たちは、他校生と交流したり、ディベートさせていただき、とても楽しそうでした。
- 生徒たちのモチベーションアップにつながる機会になりました。

ご支援、ご協力いただきましたすべての皆様に心より感謝申し上げます。

以上

写真



岩手県立盛岡第一高等学校



岩手県立一関第一高等学校



作新学院高等学校 C チーム・D チーム



神奈川県立柏陽高等学校



神奈川県立湘南高等学校



長野県屋代高等学校



栃木県立佐野高等学校



栄光学園高等学校ベストディベーター



福井県立藤島高等学校



ノートルダム清心中・高等学校



PDA 兵庫県立神戸高等学校 即興型英語ディベート

一般社団法人パラメンタリーディベート人財育成協会（PDA）

開催日時：2023年8月9日（水）9:30-11:30

会場：オンライン（Zoom）

参加者：生徒14名、教員2名

ジャッジ：PDA スタッフ、同志社大学

はじめに、ルール確認が行われました。ディベート中の質疑応答“POI（Point of Information）”の練習では、スタッフの声に合わせてPOIのポーズをすることができました。

実践（1）の様子

実践（1）では、POIを活用しながらお互いのポイントをよく理解し、議論を深めようとする様子が見られました。ディベートが終わり、ジャッジのコメントを待っている時間でも、お互いに「あのポイントはこういう意味だった？」など質問を交わし、相互理解に努めました。今回初めて顔を合わせて一緒にディベートをしたメンバーも、一緒にディベートをすることで仲を深めました。



POIの様子



ディベート後の握手

実践（２）の様子

休憩をはさみ、肯定と否定を入れ替えて実践（２）のスタートです。「抽象的な言葉には具体例をつけたし、描写することにチャレンジする」「反論でも理由や根拠を示す」など実践（１）でジャッジから受けたフィードバックを活かそうと自身の見聞きしたエピソードなどを具体例で盛り込む場面も見られました。



アイコンタクトをしながらスピーチ



ディベート後の握手

ディベートが終わると、本日実践（２）でベストディベーターに選ばれた生徒が、「２回の実践を通して成長を実感した。脳の普段使っていない部分を使っている気がした。」と感想を述べました。



本日の感想を述べています

参加者の声（アンケートより抜粋）

- ・初めて英語で即興ディベートをしたので楽しかったです。
- ・英語でディベートを今までしたことがなかったけれど、説明を詳しくしてくれてとても分かりやすかったです。文法の実践的な使い方を学ぶことができてとてもよかったです。
- ・しっかりとした英語のディベートは初めてでしたが、形になって英語も使えてよかったです。自分の意見の伝え方や、何を取り上げるかについてのアドバイスをたくさん詳しく聞けてよかったです。ありがとうございました！
- ・即興型ディベートの難しさや、面白さを知ることができた。楽しかった。
- ・具体例や、深く話すことが理解へ繋がると分かった。
- ・短時間で文章を組み立てるのが新鮮で、言えなかったこととかもいっぱい出てきてつぎはこうしたいとかたくさん自分の意見がでてきて楽しかった。
- ・ディベート自体にもあまり経験がなかったので、英語でとなるとさらに大変だったが良い経験になった。
- ・後からこういうことも言えたなとか PDA の方の意見でなるほどなと思うことも多かったので、自分から思いついて積極的に話せたらなと思いました!!
- ・いかに論理的に反論できるか、というのがディベートの難しさだと感じました。個人で細かなフィードバックをいただけたりと貴重な経験ができたと思います。2 回目でベストディベーターに選んでいただいたのも嬉しかったし、また機会があればパーラメントディベートやってみたいと思いました！

PDA 関西公立高校即興型英語ディベート交流大会2023

一般社団法人パラメンタリーディベート人財育成協会 (PDA)

開催日時：2023年8月19日(土) 09:30-14:00

会場：オンライン (Zoom)

参加校：7校、12チーム (兵庫県立神戸高等学校、滋賀県立膳所高等学校、奈良県立奈良高等学校、滋賀県立彦根東高等学校、京都市立堀川高等学校、大阪府立北野高等学校、神奈川県立相模原高等学校 [Swing])

参加者：生徒42名、教員12名

Supported by  THE NIPPON FOUNDATION  KDDI Foundation

スタッフ：PDAスタッフ、同志社大学、広島大学、大阪大学、PDA認定教育ジャッジ

開会式では、はじめにPDA代表理事・中川智皓より「いろいろなことにアンテナにはることでたくさんのチャンスを得ることができるということを私自身も実感しています。本日のディベートでも論題が毎回変わります。ディベートを通して真剣に論題について考えることがこれから必ず役立ちます。」とメッセージが送られました。次に、大阪府立北野高等学校の天野校長先生より「本日はあなた自身を英語で表現し、論理的に考え、知識を広げ、プレゼンテーションスキルを向上させる機会です。交流を楽しみながら頑張ってください。」と英語でご挨拶いただきました。そして、滋賀県立膳所高等学校の富江校長先生より「間違いを恐れず、間違いから学ぶこと、多くの友達を作ること、素晴らしい思い出を作ること励んでください。」と英語でスピーチいただきました。その後、PDAスタッフから参加校の紹介やこれまでの関西交流大会の様子に関する紹介、POI (Point of Information: 相手チームに質疑応答を要求するルール) の練習が行われました。



北野高校

北野高校・天野校長先生ご挨拶



膳所高校長(富江)

膳所高校・富江校長先生ご挨拶



全員で「POI!!」

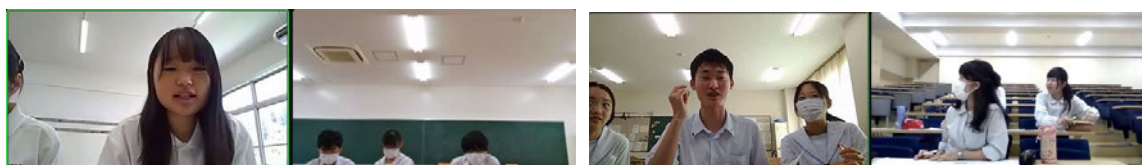


北野高校 POI の練習風景

POI の練習が終わると、早速第 1 ラウンドの始まりです。第 1 ラウンドのお題は **“Students should be prohibited from using ChatGPT. (生徒の ChatGPT の利用を禁止すべきである。)”** でした。肯定側は、生徒が考えることを放棄し成長につながらない点や、誤った情報を鵜呑みにするリスクなどについて説明し、否定側は、効率よく学習する重要性や、批判的思考の向上などについて説明しました。ディベート後はお互いのスピーチ内容について確認したり、「花火大会やお祭り行った?」「こんな校則ある?」と話したり交流を深めました。その後ジャッジから勝敗の説明と個人フィードバックが伝えられました。



学校での様子 (北野高校 A チーム)



アイコンタクトをしながらスピーチ (左: 相模原 VS 膳所 A) (右: 神戸 B VS 彦根東 A)



健闘をたたえ画面越しにエアー握手 (左: 奈良 B VS 北野 A) (右: 彦根東 B VS 奈良 A)



エアー握手 (神戸 B VS 彦根東 A)

交流の様子 (北野 B)



ディベート後の交流 (左: 堀川 VS 膳所 B) (右: 神戸 A VS 北野 B)



ディベート後の交流 (彦根東 B VS 奈良 A)

続く第2ラウンドのお題は、“**Japan should increase defense spending.** (日本は防衛費を増額すべきである。)”でした。日本以外の関係する国を挙げ、日本を取り巻く国際関係について言及するなど説得的なスピーチが見られました。POIも活発に飛び交い、質疑応答を通して議論を深めました。



POI！（堀川 VS 彦根東 A）



堂々とスピーチ（北野 B VS 奈良 A）



POI！（北野 B）



エアークラップ（彦根東 B VS 神戸 A）



エアークラップ（相模原 VS 奈良 B）

そしてジャッジが高く評価した生徒6名によるエキシビジョンディベートが始まりました。論題は“**Japanese students should go to universities abroad.** (大学は海外に進学すべきだ。)”でした。海外の大学でしか得られないもの、日本の大学でしか学べないことについて議論するだけでなく、多様なキャリアにも言及し、大学生活だけでなく大学卒業後の学びについても取り上げました。エキシビジョンディベートを聞いていた生徒が挙手で投票し、Government（肯定側）の勝利となりました。



ジェスチャーも交えながらスピーチ



エキシビジョンディベートでも POI！！

閉会式では、表彰式のあと、校長先生からご講評をいただきました。奈良県立奈良高等学校の前田校長先生より「この大会で得た力を新たなチャレンジに繋げてほしい。今日出会って交流した仲間がこれからの人生に影響し合える仲間になることを願っています。」とメッセージが送られました。そして、滋賀県立彦根東高等学校の伊吹校長先生より「自身の英語力を試し、プレゼンテーションスキルをブラッシュアップする機会になったことと思います。よい思い出になったのではないのでしょうか。これからも頑張ってください。」と英語でご講評いただきました。

最後に全員で自分に対して労いの拍手を送り、関西交流大会が終了しました。



奈良高校・前田校長先生によるご講評



彦根東高校・伊吹校長先生によるご講評

【表彰】

〈エキシビジョンディベータ賞〉

- ・ PM 北野高校 _____さん
- ・ LO 膳所高校 _____さん
- ・ MG 堀川高校 _____さん
- ・ MO 神戸高校 _____さん
- ・ LOR 奈良高校 _____さん
- ・ PMR 彦根東高校 _____さん



〈チーム賞〉

- 1位 奈良高校 Aチーム
- 2位 彦根東高校 Aチーム
- 3位 北野高校 Bチーム
- 4位 神戸高校 Aチーム
- 5位 堀川高校



1位 奈良高校 Aチーム



2位 彦根東高校 Aチーム



3位 北野高校 Bチーム



4位 神戸高校 Aチーム



5位 堀川高校

〈ベストディベーター賞〉★は2回選ばれた生徒

- ・ _____さん (相模原) ★
- ・ _____さん (彦根東 A) ★
- ・ _____さん (相模原)
- ・ _____さん (北野 B)
- ・ _____さん (北野 A)
- ・ _____さん (北野 A)
- ・ _____さん (堀川)
- ・ _____さん (奈良 B)
- ・ _____さん (奈良 A)
- ・ _____さん (奈良 A)
- ・ _____さん (膳所 B)
- ・ _____さん (神戸 A)



ベストディベーター賞

〈POI賞〉

- ・ _____さん (相模原)
- ・ _____さん (相模原)
- ・ _____さん (北野 B)
- ・ _____さん (北野 B)
- ・ _____さん (北野 A)
- ・ _____さん (堀川)
- ・ _____さん (彦根東 B)
- ・ _____さん (彦根東 B)
- ・ _____さん (奈良 B)
- ・ _____さん (奈良 B)
- ・ _____さん (奈良 A)
- ・ _____さん (膳所 B)
- ・ _____さん (膳所 A)
- ・ _____さん (神戸 B)
- ・ _____さん (神戸 B)



ベスト POI 賞

参加者の声（アンケートより抜粋）

（生徒の声）

- ・自分の成長を感じて本当に嬉しかった。（神戸高校）
- ・みんなすごく発音良く、淀みなく話されていてリスニングが難しく話すのも上手に行けなかったので次こそは上手く話せるように英語になれるようにしたいです。（膳所高校）
- ・自分が考えていた意見に対する反論が、違う視点に立つからこそ、自分には無い考えばかりだったので、聞いていて楽しかった。ディベート自体始めてから日も浅く、分からないことばかりでしたが、意見を短い間で構築して主張するということがとても面白く、楽しかったです。（膳所高校）
- ・最近議論されている論題について議論でき、また、他校とも交流できて、とても良い機会となりました。（膳所高校）
- ・関西のレベルの高い高校のチームと対戦させていただくことができ、あまりに自分が無力で諦めそうになったけれど、それと同じくらい学んだことが多くて凄く良い体験になりました。今日、改めて即興型ディベートって楽しいな！と思いました。（彦根東高校）
- ・思うように言いたいことが言えないことも多くあったが、以前よりも自分の役割を理解してディベートに臨めた。（彦根東高校）
- ・本当に貴重な体験になった。これからの後輩にも参加して欲しいと思う。（堀川高校）
- ・単純に本当にいい思い出になった。ありがとうございました。（奈良高校）
- ・とても勉強になった。本当にすごすぎた。私ももっと頑張りたい。（奈良高校）
- ・どのような表現が良いか、説得的か、と言うことや構成など学べるものがたくさんありました。（北野高校）
- ・今日は本当に楽しかったです！論題も考えがいのある内容でしたし、ジャッジのコメントやアドバイスも今後に繋げていきたいです！ありがとうございました。（北野高校）
- ・様々な意見を聞くことが出来て、視野が広がったと実感した。物事の多面性を感じる事が出来た。（北野高校）
- ・二試合しかありませんでしたが、いろんな人と交流ができてすごかったのです！！（相模原高校）

（教員の声）

- ・防衛費増額とチャット GPT というどちらもホットな話題について生徒たちが関心を持ち、自分の意見を伝えるという大変貴重な機会になりました。ありがとうございます。
- ・生徒が一生懸命参加しているのを見れた。
- ・ディベートは英語力や思考力、対話する力をつけていくのに効果的だ、とあらためて思いました。また、必死で考えたり英語でどう表現したらいいのだろうと必死になる、そういう **incentive** になるのがとてもいいなあ、他にここまで **urgent** な **incentive** を生徒にもたせる方法はないのではないか、と思いました。
- ・他チームのみなさん、スタッフやジャッジのみなさんには有意義な機会をいただき、心よりお礼申し上げます。対戦を通して、生徒達の成長が感じられる一日でした。ありがとうございました。

(現地の様子)



滋賀県立膳所高等学校



滋賀県立彦根東高等学校



大阪府立北野高等学校



PDA 即興型英語ディベート 神奈川体験会①（6校）

一般社団法人パラメンタリーディベート人財育成協会（PDA）

開催日時：2023年9月9日（土）09:00-11:00

会場：オンライン（Zoom）

参加者：生徒42名、教員6名（神奈川県立柏陽高等学校、神奈川県立希望ヶ丘高等学校、神奈川県立平塚江南高等学校、神奈川県立湘南高等学校、神奈川県立厚木高等学校、神奈川県立茅ヶ崎北陵高等学校）

ジャッジ：PDAスタッフ、北海道教育大学、九州大学、PDA認定教育ジャッジ、神奈川県立柏陽高等学校、神奈川県立湘南高等学校、神奈川県立厚木高等学校、神奈川県立茅ヶ崎北陵高等学校

はじめに、ルールの確認とPOI（Point of Information）の練習を行いました。片方の手を頭に乘せ、もう片方の手を伸ばして行うPOIのポーズですが、ピン！としっかり手を伸ばして元気よくPOIのポーズをすることができました。



POIの練習

実践（1）の様子

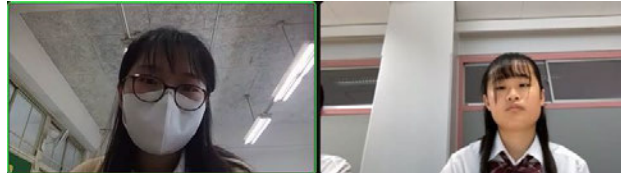
実践（1）では、デメリットを説明する際に社会背景を絡めて説明するなど、スピーチの工夫がたくさん見られました。POIを通した質疑応答もたくさん行われ、聞き取れなかった部分の確認などに止まらず、内容に踏み込んだ質問にチャレンジしました。



POI！（厚木高校 VS 平塚江南高校）

実践（２）の様子

休憩を挟み、２回目の実践です。ナンバリングしながら説明したり、複数の理由を提示したりなど、実践（１）でジャッジから受けた「わかりやすく伝えるコツ」や「主張を説得的にするためのアドバイス」を活かすことができました。ディベートが終わると握手を交わし、対戦チームと交流を深めました。



希望ヶ丘高校 VS 湘南高校



茅ヶ崎北陵高校 VS 厚木高校



ディベート後、画面越しに握手（湘南高校 VS 柏陽高校）



ディベート後の交流（平塚江南高校 VS 柏陽高校）

参加者の声（アンケートより抜粋）

- ・POI ができたりなど自分の成長が実感できて嬉しい。（柏陽）
- ・いろんな高校の人と関わって楽しかったです。（柏陽）
- ・本日はありがとうございました。Motion がすごく面白くて、考えるのが楽しかったです。
（湘南）
- ・いつもより緊張したことで、自分の中で、話さなきゃ！といつも以上に感じ、また1つ自分の中で成長出来たかなと思います。そして。改善点がハッキリと分かったので、とても良い機会だったなと感じます。（湘南）
- ・とても難しかったし止まってしまったりしたけれど、その分自分に足りないところやもっと説得力を持たせるための方法が聞けて良かったと思う。負けてしまったのは悔しかったけれど、これからもっとやってみたいと思うきっかけになったと思う。POI までできなかったのもので、挑戦してみたい。（湘南）
- ・英語を話すことが大好きな自分にとっては最高の機会だった。（希望ヶ丘）
- ・ディベート自体も初めてだった上に、英語での語彙力も発音もリスニング力も足りなくて悔しかったです。当日までに上達できるか不安もありますが、目標が見えて前向きな気持ちになりました。（希望ヶ丘）
- ・慣れてなく、話の形を作ることやまとめることが難しかった。けれど、色々な意見を聞いてそれに準じた反論を探ることで自分の視野を広げることができたのが面白かった。
（希望ヶ丘）
- ・先生たちが真摯にアドバイスしてくれて嬉しかった。（茅ヶ崎北陵）
- ・ほかの学校の人たちの喋り方やまとめ方を知ることが出来て良かったです。ジャッチの先生方のアドバイスを活かしてこれからも頑張っていきたいと思いました。（茅ヶ崎北陵）
- ・初めて他校の人とディベートを行ってまだ慣れない部分もあったり緊張で言えなかったりする所もありましたがとても楽しくディベートできました。（平塚江南）
- ・言えないことがたくさんあったので、もっと練習をしたいと思いました。（平塚江南）
- ・今回はあまり苦手分野である政治関係のお題があまり出なかったのが割とスラスラ喋れた。今回の感覚を忘れずに政治関係のディベートにも応用したい。（厚木高校）



PDA 即興型英語ディベート 神奈川体験会② (5校)

一般社団法人パラメンタリーディベート人財育成協会 (PDA)

開催日時：2023年9月10日(日) 09:00-11:00

会場：オンライン (Zoom)

参加者：生徒30名、教員4名 (神奈川県立横浜平沼高等学校、神奈川県立川和高等学校、
神奈川県立多摩高等学校、神奈川県立鎌倉高等学校、神奈川県立小田原高等学校)

ジャッジ：PDAスタッフ、北海道教育大学、九州大学、PDA認定教育ジャッジ、神奈川県立多摩高等学校、神奈川県立鎌倉高等学校

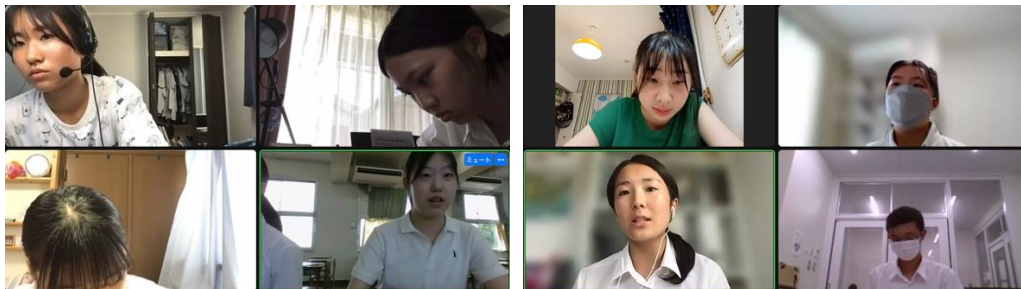
はじめに、ルールの確認と POI (Point of Information) の練習を行いました。POI のポーズ知っていますか？とスタッフがたずねると、率先して POI のポーズを披露する姿も見られました。



POI の練習

実践(1)の様子

実践(1)では、チームで話し合った内容を時間いっぱいスピーチすることができました。具体例も巧みに使いながらわかりやすく説明したり、ディベート後は「論題についてどう思う？」と話したり、交流する様子も見られました。



鎌倉高校 VS 川和高校

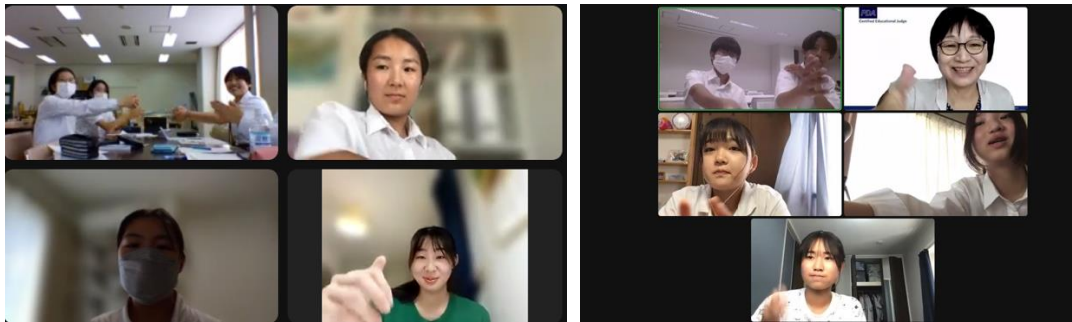
鎌倉高校 VS 多摩高校



小田原高校 VS 多摩高校

実践（２）の様子

休憩を挟み、2回目の実践です。家族や友人の例を交えながら説明したり、似ているものとの違いを説明したり、1回目の実践よりも中身の詰まったスピーチを披露しました。ディベート後は画面越しに握手を交わし、ジャッジからフィードバックを受けました。



ディベート後の握手（横浜平沼高校 VS 鎌倉高校） （多摩高校 VS 鎌倉高校）



ディベート後の交流（小田原高校 VS 鎌倉高校）



ジャッジによるフィードバック（川和高校 VS 多摩高校）

参加者の声（アンケートより抜粋）

- ・例や順序立てた説明の重要性を感じました。（横浜平沼）
- ・論題が面白くてすごく印象に残りました。今後の論題を作成するきっかけにもなると思うので新たな視点を得られた良い機会でした。（横浜平沼）
- ・またやりたいです。（横浜平沼）
- ・アドバイスが貰えるのはすごいいい！（川和）
- ・他校の人と交流が持てて楽しかったです。（川和）
- ・英語を通じて他校と関わって楽しかったです！ありがとうございました。（川和）
- ・表現の仕方をこれからは工夫できるようにしていきたい。（多摩）
- ・自分の学校だけでは得られない別の視点やスピーチのやり方を他校の方から得られたので良かったです。（多摩）
- ・色々な論題に触れて、興味深い考え方を知れて面白かった。これからもこのような機会があれば参加したい。（多摩）
- ・難しかった。相手が何を言っているのか聞き取れなかったりして反論が上手く返せない場面が多かった。けど楽しんで取り組めたと思う。（鎌倉）
- ・他校との交流や、練習で行ったことのないポジションについたりなど、初めてのことをたくさん体験できました。あまりチームに貢献できていなかったと思いますが、貴重な体験をさせていただきました。この時に感じた課題点やしていただいたフォローなどを意識し、来年は自分がサポートに回れるようになっていきたいです。（鎌倉）
- ・練習で行ったことのないポジションを任せていただいたりと、多くの経験をさせていただきました。あまりチームに貢献できていなかったですが、今回感じた課題やポイント、していただいたフォロー、アドバイスなどを忘れず、来年はサポートする側に回れるようになりたいです。（鎌倉）
- ・他校とのディベートは初めてだったので、とても良い経験になりました！本番の大会についても、より明確になったと思います。（小田原）
- ・初めて英語のディベートをやって、構成とか難しかったけどとても楽しかったです。（小田原）



PDA 即興型英語ディベート 神奈川体験会③ (7校)

一般社団法人パラメンタリーディベート人財育成協会 (PDA)

開催日時：2023年9月16日(土) 09:00-11:00

会場：オンライン (Zoom)

参加者：生徒40名、教員10名 (神奈川県立横浜翠嵐高等学校、神奈川県立横浜国際高等学校、神奈川県立光陵高等学校、神奈川県立横須賀高等学校、神奈川県立相模原高等学校、神奈川県立大和高等学校、神奈川県立横浜緑ヶ丘高等学校)

ジャッジ：PDAスタッフ、九州大学、PDA認定教育ジャッジ、神奈川県立横浜翠嵐高等学校、神奈川県立横浜国際高等学校、神奈川県立横須賀高等学校、神奈川県立大和高等学校、神奈川県立横浜緑ヶ丘高等学校)

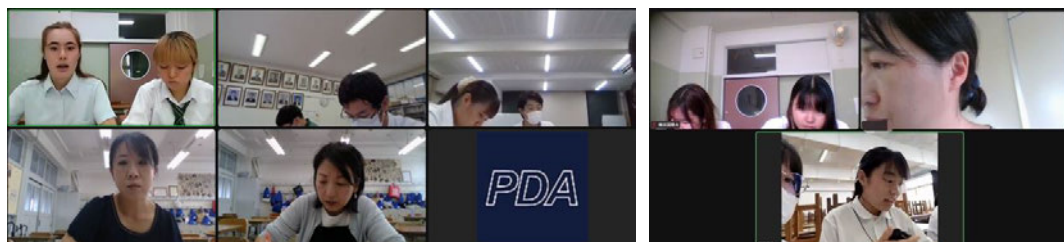
まず、役割分担やスピーチ時間などルールの確認を行い、POI (Point of Information) を練習しました。POIの片手を頭に乘せて、もう片方の手を伸ばすポーズを元気よくとすることができました。



POIの練習

実践(1)の様子

実践(1)では、準備時間にチームメイトと考えた理由や具体例を効果的に用いながら堂々とスピーチすることができました。POIを通じた質疑応答も活発に行われました。



横浜国際高校・光陵高校 VS 大和高校

横浜国際高校 VS 相模原高校



POI！（相模原高校 VS 横須賀高校）



握手（横浜翠嵐高校・横須賀高校）（横浜国際高校・横浜緑ヶ丘高校）

実践（２）の様子

実践（１）でジャッジの先生から次のディベートに向けたアドバイスをもらおうと、早速実践（２）のスタートです。１ラウンド目よりも身近なトピックに、友達のエピソードなどを交えるなど描写をしながら説明する場面も見られました。



POI！（横須賀高校 VS 大和高校）



ディベート後の交流（横浜緑ヶ丘高校 VS 相模原高校）



ジャッジによるフィードバック（横浜国際高校 VS 横浜翠嵐高校）

参加者の声（アンケートより抜粋）

- ・他校との交流で、他校の雰囲気や学校についての違いを見つけられることもできました。
（横浜国際高校）
- ・実践的に緊張感のある中ディベートできる機会は貴重なのでとてもありがたかったです。
ありがとうございました。（横浜国際高校）
- ・POI が途中に入ってきたときの先輩の返答を、実際に側で聞いてとても刺激になりました！
（横浜翠嵐高校）
- ・他の学校の人と真剣な試合形式でディベートするのが新鮮だった。（横浜翠嵐高校）
- ・皆さん ベルが高く、たくさん学ぶところがあった。負けると悔しさを感じ、モチベーションが上がった。（横浜緑ヶ丘高校）
- ・総評の先生が具体的にどんなところが改善できるかを教えてくれたので、参考になった。
（横須賀高校）
- ・自分は初めての大会だったから慣れないことも多く、あまり上手く話せなかったけど、ジャッジからのコメントで為になるアドバイスを色々頂けてとても勉強になった。（相模原高校）
- ・自分にはない考えるを持っている人がたくさんいて、多くのことを学べた。（大和高校）
- ・緊張とあせりがあるなかで、より一層のチームワークが必要だった。役割を果たせたことが楽しかった。（大和高校）
- ・



日比谷高等学校・千葉高等学校 即興型英語ディベート合同体験会

一般社団法人パラメンタリーディベート人財育成協会 (PDA)

開催日時：2023年9月28日(木) 15:30～17:40

場所：日比谷高等学校・千葉高等学校 会議室から zoom にて

参加者：生徒14名(2テーブル)、PDA ジャッジ2名

実践1： Convenience stores should be closed late at night.

(コンビニエンスストアの深夜営業をやめるべきである。)

実践2： It is better for university admission test takers to have a boyfriend/girlfriend.

(大学入試の受験生には彼氏/彼女がいた方がいい。)

実践の様子

ルールの確認の後、POI の練習をしました。実践1では、同じ学校同士の対戦で、具体例をたくさん織り交ぜながらスピーチをする様子が見られました。実践2では、実践1でジャッジからもらったフィードバックを活かしながら、他校との対戦となりました。「受験生にとって何が大事なのか」という観点から議論が進み、相手の立論に対して的確な反論をすることができていました。

実践終了後、感想を尋ねると、「ジャッジからのアドバイスが参考になった」「相手校との交流を通して刺激をもらった」と前向きなコメントをしてくれました。



POIの練習



実践1の様子



POIの様子



ジャッジコメントの様子



試合後の握手の様子

<ベストディベーター賞> ■さん、■さん、■さん、■さん、■さん

<ベスト POI 賞> ■さん

参加者の声（アンケートより抜粋）

- ・ 英語のディベートをやったことがなくて、うまく英語で話せないのではないかと心配していたが、楽しくできたし勉強になったので参加して良かった。
- ・ 一度もディベートを英語で取り組んだことがなかったのですが、講師の方からアドバイスをもとに2回目も取り組めてとても貴重な経験ができた。
- ・ 他校の方と英語ディベートをできて楽しかったです。また、普段は先生のアドバイスをいただけることがないので今回いただいたアドバイスはとても参考になりました。このような機会を用意していただき、ありがとうございます。
- ・ 英語でディベートという機会がまず初めてで、自分の主張や反論を考えるのはとても楽しかった。また、相手の論理展開、反論を聞くのも新鮮かつ、自分にはないアイデアの立て方が聞けて楽しかった。
- ・ 今まで、自分の英語力についてあまり反省する機会がなかったが、客観的なコメントをいただけて、また、ディベートの上手い方も多数見させていただいて、本当に参考になったし、モチベーションにもなった。



船橋高等学校 即興型英語ディベート体験会

一般社団法人パラメンタリーディベート人財育成協会 (PDA)

開催日時：2023年9月29日(金) 13:30～15:30

場所：船橋高等学校 会議室から zoom にて

参加者：生徒10名(1テーブル)、PDA ジャッジ1名

実践1： Convenience stores should be closed late at night.

(コンビニエンスストアの深夜営業をやめるべきである。)

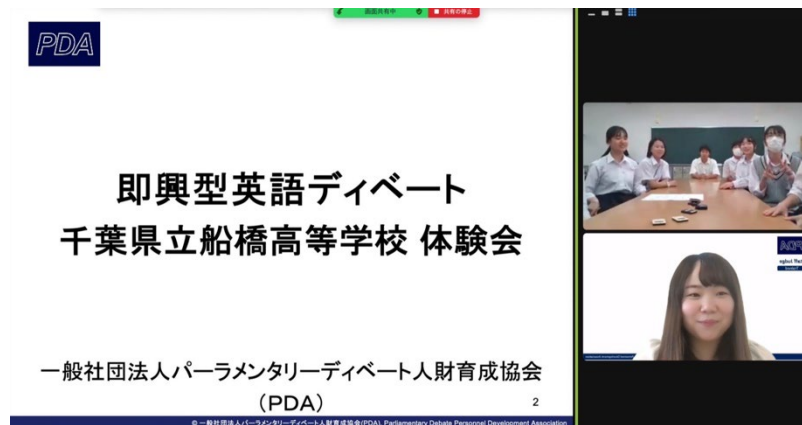
実践2： It is better for university admission test takers to have a boyfriend/girlfriend.

(大学入試の受験生には彼氏/彼女がいた方がいい。)

実践の様子

ルールの確認の後、POI の練習をしました。実践1では、相手の立論にすぐに反論することに苦戦する様子も見られましたが、的確で相手の話を弱める反論をする様子が見られました。実践2では、実践1でジャッジからもらったフィードバックを活かしながら、「受験生にとって何が大事なのか」という観点から議論が進み、深刻性をうまく説明することができていました。

実践終了後、感想を尋ねると、「聞き取るのも大変で短い準備時間で英語にするのが大変だったけど、ジャッジに伝わっていてよかった。」「15分という短い時間で準備するのは大変だったが楽しかった。」と前向きなコメントをしてくれました。





POI の練習



実践の様子



試合後の握手の様子

<ベストディベーター賞> ■■■さん、■■■さん、■■■さん、■■■さん

<ベスト POI 賞> なし

参加者の声（アンケートより抜粋）

- すごく有意義な時間でした！自分の改善点があったので今後に活かせると思います。
- ディベートにおいて何が大切なのかを知ることができた
- 個人フィードバックがとてもしっかりしていて、何を直せばいいのかが分かりやすかったです。
- 久しぶりに集中して考えて議論できたので楽しかったです。
- 1回目、自分はほとんど何もできなかったのに、前向きな言葉でコメントしていただき、2回目のモチベーションにつながりました。ジャッジがとても早く、聞いているだけで勉強になった気がします。何よりこの会をを考えて下さってありがとうございます。とても楽しかったです。